

原料費調整制度に基づく2023年4月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2023年4月検針分の単位料金を調整した結果、2023年3月検針分と比べ、1m³ (45MJ)につき3.6円(消費税込)下方に調整いたします。

なお、2023年2月検針分より、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」^{*1}にて支援される補助金により、30円/m³の値引きを行っております。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2023年3月検針分と比較して、130円(消費税込)ガス料金が下がります。なお、経済産業省の補助金適用前との比較では、1,080円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2023年4月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

*1 詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	130.85	109.30	96.68
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³)	160.85	139.30	126.68
(参考) 3月 調整単位料金	134.45	112.90	100.28

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	(消費税込)		
	2023年3月 ^{*2}	2023年4月 ^{*2}	増減
	5,360	5,230	▲ 130

【参考】補助金適用前	
2023年4月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,310	1,080

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

*2 補助金適用により、30円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年10月～2022年12月 の平均 (3月検針分)	2022年11月～2023年1月 の平均 (4月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	65,990	61,780	▲ 4,210
LNG	141,670	132,510	▲ 9,160
LPG	93,300	88,680	▲ 4,620
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	38,600	34,400	▲ 4,200

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{132,510}{100} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{88,680}{100} \times 0.0371 \\
 & &= & 61,779.94 \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & &= & 61,780 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 61,780 \text{ 円/t} & - 27,350 \text{ 円/t} &= & 34,430 \text{ 円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & &= & 34,400 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \frac{34,400 \text{ 円}}{100 \text{ 円}} \times 0.0858^{*3} \\
 &= 29.51 \text{ 円}^{*4}
 \end{aligned}$$

*3 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= 29.51 \text{ 円} - 30 \text{ 円} = \text{▲} 0.49 \text{ 円} \\
 & \text{(補助金適用後)}
 \end{aligned}$$

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³)	2023年 3月 ^{*2}	2023年 4月 ^{*2}	増減
適用料金(円/月)	5,360	5,230	▲ 130

【参考】補助金適用前

2023年 4月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,310	1,080

・標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,296.10 \text{ 円}) \\
 &+ \text{調整単位料金}(109.79 \text{ 円}) + \text{▲} 0.49 \text{ 円} \times 36 \text{ m}^3 \\
 & \text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。